

<全体分析>

試験時間 2科目で150分

<p>解答形式 論述 (1行30字 2行×3、3行×4、4行×1 計22行) 分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化) 分量は変化なし。全問がA・Bの枝問。難易度に変化はない。 出題の特徴 大きな変化はない。 その他トピックス 2017年度第1回東大即応オープン第1問で律令国家の東北地方支配を扱った。</p>
--

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	論述 A 2行 B 4行	A 東北支配の意味 B 東北経営の影響	A 律令体制のもとでの「東北」支配の意味。 B 東北地方に対する施策が国家・社会に与えた影響。	やや難
第2問	論述 A 2行 B 3行	A 六波羅探題の成立 B 九州支配	A 承久の乱後の幕府権力の西国への波及。 B 鎮西探題と異国警固番役の継続に留意すること。	標準
第3問	論述 A 2行 B 3行	A 農民の家と相続 B 農民層の女性	A 農民の「家」について正面から問うもの。条件文を簡潔にまとめることが必要であった。 B 「名前の書かれ方」の相違から女性の地位を考えなければならない。	やや難
第4問	論述 A 3行 B 3行	A 大正政変と政党 B ロンドン海軍軍縮の背景	A 政党内閣への「影響」を基本知識で推定すること。 B 基本的な問題。素直に要点を指摘する。	やや易

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>代表的な過去問に目を通し、日頃の学習にそれを活かしていくこと。その際、できれば解答を作成し、添削指導を受けることが望ましい。そして、夏期講習段階で予想問題にチャレンジすること。 また、文化史を不得意分野にしないこと。作品暗記だけの文化史学習では通用しないことを意識して、政治・外交・経済との関わりに十分注意すること。</p>
--